

将来を育み、  
未来を広げる。



学校法人 東京理科大学

東京理科大学維持拡充資金(第二期)

募金のお願い

本学は、本年6月に創立140周年を迎えます。1881年の創立以来、建学の精神「理学の普及を以て国運発展の基礎とする」に基づき長年にわたって有為な人材を世に送り出し、我が国屈指の理工系総合大学としてあり続けることができるのも、ひとえに皆様のおかげと心から感謝申し上げます。

本学は昨年のコロナ禍に対応し、家計が急変し経済的に厳しい状況にある学生の学びの継続のため、学生一人あたり10万円を給付する「東京理科大学家計急変支援金」の創設を始めたとする様々な支援策を行ってきました。

これらの支援にあたり、昨年6月から募集を行った「維持拡充資金(第二期)コロナ支援金」には、多くのご寄付を頂戴しました。皆様のご厚意に重ねてお礼申し上げます。

コロナ禍の影響は長期化しており、今後も学生への支援を継続して参りますので、皆様におかれましても引き続きのご支援をお願いいたします。

さて、本学では創立140周年を記念し、2031年の創立150周年に向けて、新たな東京理科大学を築くための様々な準備を進めています。葛飾キャンパスでは、二期工事として本年に新棟建築を開始し、2024年に完成する予定です。神楽坂や野田キャンパスでは、より充実した教育研究が行えるよう、継続的に整備を行う予定です。

また、With/Afterコロナにおける新しい教育の在り方に相応しい教室環境や情報ネットワーク環境を構築していきます。

これらと並行して、リカレント教育の充実にも取り組んでいきます。

「東京理科大学オープンカレッジ」では、ビジネススキルを向上させるための「ビジネス講座」、人生を豊かにする「教養講座」を開講しています。

昨年から、東京近郊以外に在住の皆様にもご自宅等で受講していただけるオンラインの講座を大幅に増加させました。今後、会場に会場いただくタイプの講座と併せ、内容を一層充実させて参りますので、是非ご利用ください。

18歳人口の減少などにより、大学を取り巻く経営環境は厳しさを増しておりますが、本学が大きく発展し、“価値ある大学”として、世界中から学生・研究者の集う拠点となるべく、今年も種々の施策を実行して参ります。

皆様より頂戴しました貴重なご厚志は、東京理科大学の更なる発展のために大切に活用させていただきますので、引き続き本学へのご支援、ご賛同を賜りますよう、よろしく申し上げます。



学校法人 東京理科大学  
理事長 浜本 隆之



東京理科大学 学長事務取扱  
岡村 総一郎

～日本における技術革新の原動力となりうる人材の育成、また研究成果を生み出すことで、  
科学技術の発展に寄与し国際社会に貢献します。これによって世界で広く認められる大学をめざします。～

維持拡充資金(第二期)では、教育研究施設、設備等の拡充に加え、大学の活動全般を支援することで教育・研究環境の更なる充実を目指します。

## TUS Vision 150が描く創立150周年時の本学の姿

- 1 日本最先端技術を駆使しイノベーション創出に貢献する多くの人材を育成
- 2 科学技術、経営、教育の分野で世界レベルのリーダーとして活躍できる人材を供給
- 3 人類への貢献をめざし、高い実践力と忍耐力を持って  
たゆまなく課題の解決に挑む人材を育む環境
- 4 基礎研究から応用研究まで幅広い分野に亘って世界をリードする研究拠点
- 5 学際的コミュニティの中で多様性をもった自由闊達な議論を求め、  
世界各国から人材が集う拠点
- 6 世界のいたる所で社会に貢献する理窓会メンバーである  
校友の強固なネットワークの中核

## 「東京理科大学大村賞」創設について

2015年、本学大学院修士課程の大村智先生がノーベル生理学・医学賞を受賞されました。その際、受け取られた賞金の一部を「人材を育成する法人に寄付したい」旨のお考えからご寄付いただきました。本学としては大村智先生のお考えをもとに「東京理科大学大村賞」を創設し、その年度の最もすぐれた研究成果をあげた学生に授与することとしました。

ノーベル賞受賞講演をする大村博士  
(毎日新聞社 大村健一氏撮影)



## 研究において様々な取り組みを実施

### 《研究センター・拠点》

- 文部科学省「共同利用・共同研究拠点」に採択
  - 火災安全科学研究拠点
- 先端研究拠点化を目指す研究センター
  - ウォーターフロンティア研究センター
  - スペースシステム創造研究センター

募 金 名 称 | 東京理科大学維持拡充資金(第二期)

募 金 目 的 | 教育研究施設、設備等の維持拡充  
及び教育研究資金

- 奨学金支援
- 教育研究推進支援
- キャンパス維持拡充支援
- 課外活動施設拡充支援

※いただいたご寄付は、特に指定のない限り、主に奨学金支援や教育研究推進支援等の教育活動に活用させていただきます。

募 金 目 標 額 | 2億円 / 年間

## 奨学金支援

学業成績が特に優秀な学生または経済的に修学が困難になった学生に奨学金として給付し、将来、社会に貢献し得る人材の育成に活用させていただきます。

## 教育研究推進支援

教育・研究資金として幅広く活用させていただきます。

## キャンパス維持拡充支援

キャンパスの施設・設備等の維持拡充に活用させていただきます。

## 課外活動施設拡充支援

大学公認団体(体育局・体育会)の活動の施設・設備等の維持拡充に活用させていただきます。



## 各キャンパス写真



神楽坂キャンパス



神楽坂キャンパス (夜)



神楽坂キャンパス (富士見校舎)



野田キャンパス



葛飾キャンパス



北海道・長万部キャンパス



近代科学資料館 (神楽坂)



PORTA神楽坂

さらなる東京理科大学の発展のために、皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

### 1 募金の種類

- 個人寄付
- 団体寄付
- 法人寄付

※詳細につきましては募金事業事務室にお問い合わせください。

### 2 個人寄付のお申込みについて

1口5万円以上のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

同封の「寄付申込書」に所要事項をご記入のうえ、返信用封筒にてご返送くださいますようお願いいたします。併せて、以下の方法にて払い込み願います。

#### ▶金融機関の窓口または本学各校舎会計窓口で払込み

同封の「払込用紙」に所要事項をご記入のうえ、最寄りの金融機関の窓口または本学各校舎会計窓口でお払込みいただきますようお願いいたします。入金を確認でき次第、領収書を発行いたします。

#### ▶コンビニエンスストアから払込み

コンビニエンスストア専用の払込用紙をご用意いたします。ご希望の寄付金額 (上限30万円) を印字した払込用紙を送付いたしますので、募金事業事務室までお申し出ください。この場合、領収書の日付はコンビニエンスストアでの払込日ではなく、収納代行会社 (株式会社電算システム) から本学への入金日となります。よって、本年12月10日以降のコンビニエンスストアからのお払込みの領収書は翌年の日付で発行され、寄付金控除も翌年の対象となりますのでご注意ください。

#### ▶インターネットから払込み

東京理科大学ホームページから、クレジット決済 (継続寄付払い対応) のほかコンビニオンライン決済、銀行のPay-easy対応ネットバンキングを利用した払込みができます。

なお、領収書については、収納機関から本学への入金通常1ヶ月程度を要するため、12月以降の払込みの場合は領収書の日付が翌年になる場合があります。ご注意ください。

詳しくは、東京理科大学維持拡充資金 (第二期) ホームページ (<https://www.tus.ac.jp/bokin/>) をご覧ください。

ご利用いただけるクレジット: VISA・MasterCard



ネットバンキング: Pay-easy



コンビニオンライン決済でご利用いただけるコンビニエンスストア:  
セブン-イレブン・ローソン・ファミリーマート・セイコーマート・ミニストップ

### 3 寄付金に対する税法上の扱いについて

この寄付金は税制上の優遇措置 (寄付金控除) の適用が受けられます。寄付金控除には、「税額控除制度」と「所得控除制度」の2種類があり、確定申告の際に寄付者 (納税者) がどちらか一方の制度を選択できます。

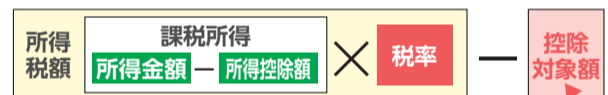
確定申告の手続きに必要な証明書 (写) は、本学発行の「寄付金領収書」と一緒に送付させていただきます。

\*国税庁のホームページから確定申告書を作成することができます。

国税庁ホームページ: <https://www.nta.go.jp>

#### 税額控除

寄付金額を基礎に算出した控除額を税率に關係なく、所得税額から直接控除するため、小口の寄付にも減税効果大きい



以下の算式により計算した額が所得税額から控除されます

$$\begin{array}{c} \text{[年間所得金額の40\%] または} \\ \text{[寄付金額] のいずれか少ない金額} \end{array} - \begin{array}{c} \text{2千円} \end{array} \times \begin{array}{c} \text{40\%} \end{array} = \begin{array}{c} \text{控除} \\ \text{対象額} \end{array}$$

● 税額控除対象寄付金: 税額控除対象法人への寄付金額

● 控除対象額は、所得税額の25%を限度とします。

注: 寄付金支出額が、総所得金額等の40%に相当する金額を超える場合には、40%に相当する額が 税額控除対象寄付金となります。

#### 所得控除

所得控除を行った後に税率をかけるため、所得税率が高い所得者の方が減税効果大きい



以下の算式により計算した額が所得控除額に含まれ所得から控除されます

$$\begin{array}{c} \text{[年間所得金額の40\%] または} \\ \text{[寄付金額] のいずれか少ない金額} \end{array} - \begin{array}{c} \text{2千円} \end{array} = \begin{array}{c} \text{寄付金控除額} \end{array}$$

### 4 個人住民税の寄付金控除制度について

お住まいの都道府県・市区町村が、本学の寄付金を条例で指定した場合、翌年の個人住民税 (個人都道府県民税・個人市区町村民税) 額から控除されます。

個人住民税の寄付金税額控除は、所得税の確定申告をすることにより適用を受けることができます。確定申告をせず、住民税の寄付金税額控除の適用のみを受ける場合は、お住まいの自治体に申告してください。

※本学を寄付金税額控除対象としている自治体 (2021年4月末現在)

都道府県: 東京都、千葉県

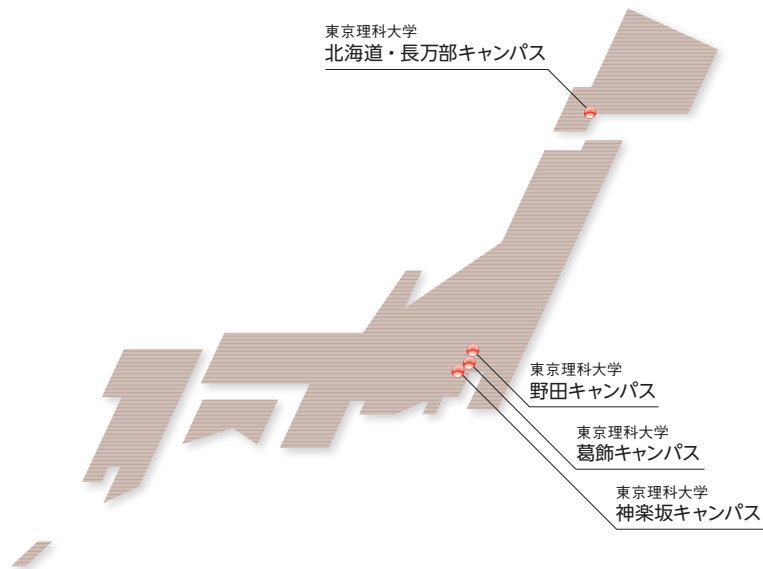
市区町村: 葛飾区、野田市、長万部町 ほか

条例指定は自治体ごとに異なります。市区町村の指定については、都県と同一としているところもありますので、詳細は各自治体にお問い合わせください。



明治39年、牛込神楽坂に新築された東京物理学校2階建て校舎

# 学校法人 東京理科大学ネットワーク



## 学校法人 東京理科大学 募金事業事務室

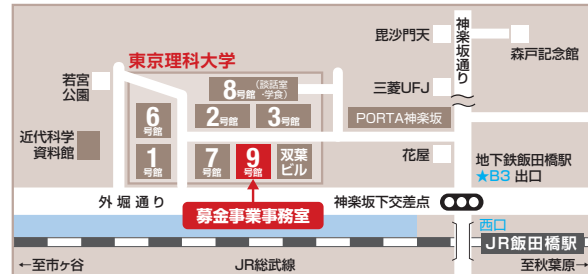
〒162-8601 東京都新宿区神楽坂1-3 9号館6階

TEL.03-5228-8723 (ダイヤルイン)

FAX.03-3260-4363

〈e-mail〉 bokinjigyo@admin.tus.ac.jp

〈URL〉 <https://www.tus.ac.jp/bokin/>



総武線「飯田橋駅」西口 徒歩4分 / 地下鉄「飯田橋駅」B3出口 徒歩3分